研修会報告書

石田浩司

1　日　　に　　ち	平成　３０　年　１１　月　１４　日（水）15 日(木)
2　研　　修　　会	第 13 回全国市議会議長会研究フォーラムＩＮ宇都宮
3　参　　加　　者	仙石三喜男・佐藤信行・石田浩司
4　研　修　内　容	1 日目 基調講演 「地域共生社会」をどうつくるか 2040 年を超える自治体の形 　中央大学法学部教授　宮本太郎 1 日目～2 日目 パネルディスカッション　議会と住民の関係
5　所感、主な質疑の内容、提言事項、課題等	毎年行われている全国市議会議長会研究フォーラムは第 13 回を迎えた。議会改革を中心にフォーラムが開催されているが、毎年、先進自治体議会の事例が報告されるようになった。 新潟市議会が行っている「主権者教育推進プロジェクト」の事例報告では、市議会が教育委員会や選挙管理委員会とともに市内の中学校・高校などに出向き、模擬意議会、地域の課題の解決に向けたワークショップ、市議会の傍聴・見学、議員との意見交換が行われている。生徒に模擬議会を体験してもらう事で市議会や市議会議員の役割や合意形成の過程を体験でき良い方法であると感じた。多治見市議会でも広報広聴研究会がおとどけセミナーを開催しているが模擬議会の実施も一つの方法である。 犬山市議会の「議員間討議の促進の取り組み」では、一般質問で答弁に納得できない事案を全員協議会の議意間討議の議題として意見集約し執行部に提案する事や市民参加の機会(市民フリースピーチ・女性議会・市民との意見交換会など)を増やし意見聴収、議員間での討議を経て提案する事例が報告された。 多治見市議会も引き続き市民の為の議会改革、市政への提案を行っていかなければならないと感じた。
6　写　　真　　等	

※視察先１件に１枚作成すること。